

労使研

労使関係研究協会
〒105-0014東京都港区芝2丁目
20番12号（友愛会館8階）
電話：03-3453-5386
FAX：03-3451-1710
関西支局
〒550-0001大阪市西区土佐堀
1丁目6番3号
（JAM西日本会館内）
電話：06-6225-2881

「情報」第60号 2021年1月

賀正



本年もよろしく願いたします

令和3年の新春を迎えて

一般財団法人日本労働会館
代表理事 宮本礼一



あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスによる感染症が世界的に拡大したことから、働き方をはじめ私たちの暮らしが大きく変容する年となりましたが、一般財団法人日本労働会館は皆様方のご協力のおかげで、新しい年を迎えることができました。

しかし、新型コロナは今年に入っても完全な終息がみえず、経済環境にも大きな打撃を与えており、当法人が運営する友愛労働歴史館および労使関係研究協会の事業、さらには収益事業であるホテル三田会館の運営にも大きな影響を及ぼしています。

当法人は、昭和6年に財団法人として設立していらい今年8月に法人設立90周年を迎えることとなりますが、今後も民主的労働運動の発展に資する事業に取り組む所存です。

新しい年が皆様方にとって素晴らしい年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

労使関係研究協会の活動(2020年4月～2020年12月)

1. 講演会活動

(1) 第94回講演会(関西)

日時 2020年10月15日(木) 14:00～16:00

場所 JAM西日本会館6階大ホール

テーマ 「アメリカ大統領選挙の情勢と日本の影響」

講師 安部 文司氏(大阪教育大学名誉教授)

京大法学部卒、PHP総研、米・フレッチャー外交大学院を経て、大阪教育大教授を歴任。

専門は国際政治、日米関係史、安全保障。

参加者 26人

概要 コロナ禍での講演会となり3密を避け、机に一人ずつの配置で行った。現在両陣営とも、スウィング・ステート(接戦州)選挙区を重点に遊説、どちらが勝利するとは明言できない。さらにコロナの影響もあり郵便投票が半数近くの州もあり、開票作業が大幅に遅れる見込みである。

民主党が勝利すると、党大会で採択された党綱領に日本に関する言及は2か所、中国は2か所で対中制裁関税の見直しや環境問題で中国との協力を模索といわれる。中国との新しい関係構築となると日本は民主党政権の対中政策、米中関係次第で立ち位置が決まってくる。

一方トランプ続投の場合は在日米軍駐留経費の増額や中国との敵対でアメリカか中国かの選択を迫られる可能性があり、トランプ政権と良好な関係を保ちつつ中国とも経済面で良好な関係維持を続けるのは難しくなるかもしれないと言及した。

2. 労働講座の開催

日時 2020年11月24日(火) 14:00～16:00

場所 友愛労働歴史館・研修室

テーマ 「労働運動35年を振り返って」

講師 小出幸男氏

参加者 22人

概要 今回の講座は参加者を限定した上でのリモート開催となった。

小出氏が日本ビクターに入社し、労働運動に入って35年の回顧。1972年(27歳)で青婦協活動に参加、80年に35歳で書記長となる。民主的労働運動を基本に、労使対等の関係確立をめざす。特にビデオ事業の急成長により若年労働者を中心に5年間で組合員が倍増した時期。賃金、経営対策で会社をリード、共済事業を強化、海外支部活動の積極展開、関連会社の組織化に取り組む。

90年に委員長となり、政治活動に本格的に取り組み、組織内議員を誕生させた。96年にビクター労連会長となりゼンキン連合副会長。ここから対外活動が中心となる。

99年にJAM結成、2001年に服部氏の後を受けJAM会長に。同時に連合副会長として、連合中小共闘を再構築した。2006年には政府の「成長力底上げ円卓会議」に、連合の高木会長らとともに参画し、最低賃金水準の引上げに尽力した。民主的労働運動と中小労働運動を核に、持ち前の牽引力で、精力的に活動されてきた35年間だった。





<お知らせ>

新型コロナウイルス感染リスク低減のため、年末年始休暇とあわせ12月26日（土）から1月11日（月）まで閉館します。

友愛労働歴史館で開催中の富士社会教育センター企画展「労働運動と教育運動」の会期は2月12日（金）まで延長いたします。

「きずな」寄稿のお願い

会員交流誌「きずな」は労使研会員各位の交流を一層充実させることを目的に、2006年の発刊以来、18号を数えることとなりました。会員の自由な作品の発表や、紙面を通じた建設的な意見交換など、ジャンルを問わない掲載内容としておりますので、積極的なご寄稿をいただければ幸いです。

- 掲載内容：特にテーマは定めません。労使関係、労働分野はもとより、政治、経済、社会、文化、紀行、趣味、娯楽など、専門分野も含めた全般とし、ジャンルを問いません。また記事や小説・詩歌等の作品、写真、イラスト、漫画の投稿も歓迎いたします。
- 字数：原則として1ページ（1,200字まで）または2ページ（2,400字まで）の二通りとしていますが、自由に執筆いただいて結構です。
- 原稿締切：2021年11月19日（金）
- 送付先：労使関係研究協会（電話番号：03-3453-5386）
担当 滑川太一
- メールアドレス： roshiken@rodokaikan.org
- 郵送：〒105-0014 東京都港区芝2-20-12 友愛会館8階
- FAX：03-3451-1710



労使研メールアドレス